

アドバンス生命理学特論、創薬科学セミナー

Topics in Advanced Biological Science

(Slide and Talk in Japanese, English handout for G30 members)

脂質代謝と免疫応答のクロストーク

Molecular crosstalk between lipid metabolism and immune responses

演者: 伊藤 綾香 助教

Assistant Professor Ayaka Ito, Ph.D.

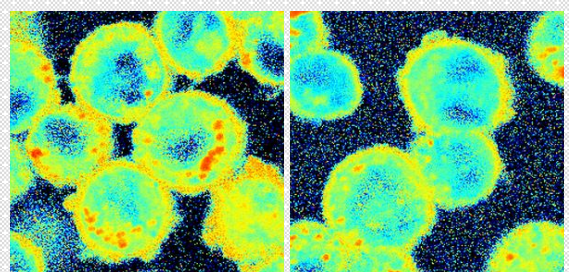
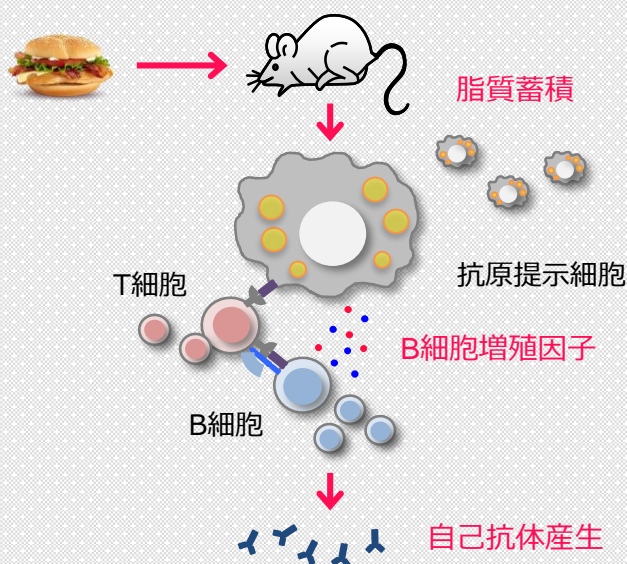
名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野 (菅波研究室)

Molecular Medicine and Metabolism (Suganami Lab)

Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University

近年、細胞内の栄養代謝が免疫細胞の機能を制御することが報告されており、“immuno-metabolism” という新たな学問領域が注目を集めている。慢性炎症性疾患である自己免疫疾患は、遺伝的要因のみならず環境要因の関与が想定されているが、発症機序には未だ不明な点が多く、栄養代謝の意義も明らかではない。我々は、細胞内の過剰なコレステロール蓄積が慢性炎症を惹起するメカニズムを明らかにし、特に抗原提示細胞におけるコレステロール蓄積が自己免疫疾患の発症を促進することを報告した。

本講演では、脂質代謝異常による免疫応答制御の破綻と自己免疫疾患の惹起という新しい概念に関して最新の知見を紹介する。



Laurdanによる細胞膜流動性の検出

References

- Immunity* 45: 1311-1326 (2016)
- eLife* 4: e08009 (2015)
- Cell Metab* 18: 685-697 (2013)
- J Clin Invest* 122: 337-347 (2012)

2018.10.18 (Thu) 17:00-18:30

理学南館 1F セミナー室

1F Seminar Room, Science South Building